

5年生が社会科でメディアについての学習をしていました。「新聞にはどのような情報が載っているのか」という学習課題について調べたり考えを深めたりする授業でしたが、一人一台端末を用いて検索をしたり、思考ツールを用いて情報を整理したりしながら学びを深めていました。

折しも本日、経済協力開発機構（OECD）が昨年実施した国際学習到達度調査（PISA）の結果が公表されたという報道がなされていました。

日本の平均点は、「数学的応用力」が前回6位から5位に上昇、「科学的応用力」が前回5位から2位に上昇、そして「読解力」が前回15位から3位に上昇という結果に加え、平均点も上がっているという情報に教育関係者の一人としてはほんと胸をなでおろしました。

本校においても、長崎県教育委員会発行の「授業改善メソッド」を基に読解力育成に力を入れています。読解力と言ってもただ文章を読み取るだけでなく、「複数の資料から読み取った情報を整理し、言葉や文章で書く」といったことや「文章から読み取ったことを絵や図、表を用いて整理する」ことなどにも取り組んでいます。普段の授業でこういった学びがきちんと行われていることが本校の強みだと思っています。

